

第27回京都がん研究会 プログラム

平成26年3月7日(金)
午後5時30分から

京都教育文化センター 2F ホール
京都市左京区聖護院川原町 4-13
TEL 075-771-4221

当番世話人 京都大学医学部附属病院 がん薬物治療科 教授 武藤 学

一般演題： テーマ 『 各がん種における分子標的薬の現状と今後

—コンパニオン診断、治療戦略、副作用対策も含めて— 』

第Ⅰ部：座長 京都大学医学部附属病院 がん薬物治療科
准教授 松本 繁巳

第Ⅱ部：座長 京都大学医学部附属病院 がん薬物治療科
講師 金井 雅史

ミニ レクチャー： 『 抗PD-1抗体(Nivolumab)を用いた医師主導治験

～卵巣癌への新しい治療開発を目指して～ 』

座長 京都大学医学部附属病院 がん薬物治療科
教授 武藤 学

演者 京都大学大学院医学研究科 婦人科学産科学
助教 濱西 潤三 先生

共 催 京都がん研究会
第一三共株式会社

後 援 京都大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
「次代を担うがん研究者・医療人養成プラン」

第27回京都がん研究会プログラム

日時：平成26年3月7日(金) 午後5時30分～8時00分

会場：京都教育文化センター 2F ホール

会費：500円

【情報提供】 午後5時30分

「ランマーク皮下注120mgについて」

第一三共株式会社

【開会の辞】 午後5時40分

京都大学医学部附属病院 がん薬物治療科 教授 武藤 学

【一般演題】「各がん種における分子標的薬の現状と今後

—コンパニオン診断、治療戦略、副作用対策も含めて—」

(発表6分、討議2分 時間厳守)

(第I部) 午後5時45分～6時33分

座長：京都大学医学部附属病院 がん薬物治療科 准教授 松本 繁巳

1. 「京都大学病院がん相談支援室の活動報告と相談事例の報告」
京都大学医学部附属病院がん相談支援室¹⁾、看護部管理室²⁾、早期臨床試験部³⁾
八杉田鶴子¹⁾、高下裕子¹⁾、出雲路祥子¹⁾、村上加織¹⁾、井沢知子²⁾、横出正之³⁾
2. 「京都大学病院における「がん患者カウンセリング」の現状報告」
京都大学医学部附属病院看護部管理室
井沢知子
3. 「B型肝炎ウイルス再活性化対策の検査実施状況調査」
京都大学医学部附属病院 薬剤部¹⁾、医療安全管理室²⁾
津田 真弘¹⁾、池見 泰明¹⁾、深津 祥央¹⁾、石塚 良子¹⁾、松村 由美²⁾、松原 和夫¹⁾
4. 「セツキシマブ併用放射線療法による粘膜皮膚炎に対する疼痛コントロールの現状」
京都大学医学部附属病院 がんサポートチーム
角 裕子(看護部)、小林 正行(血液・腫瘍内科)、林 晶子(集学的がん診療学講座)、
森 由希子(がん薬物治療科)、祝 千佳子(薬剤部)、津田 真弘(薬剤部)
5. 「当科におけるセツキシマブを併用した放射線療法の治療経験」
京都大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科¹⁾、がん薬物治療科²⁾、
放射線治療科³⁾
北田有史¹⁾、平野 滋¹⁾、楯谷一郎¹⁾、北村守正¹⁾、岸本 曜¹⁾、森田真美¹⁾、鈴木 良¹⁾、
伊藤壽一¹⁾、林 智誠²⁾、吉村通夫³⁾、井口治男³⁾

6. 「当院における進行再発胃癌に対するトラスツズマブ(ハーセプチン®)投与の現状」
京都桂病院 消化器センター 消化器内科
山口 大介、寺村 菜利、中村 武晴、大岩 容子、平田 大善、糸川 芳男、
田中 秀行、富田 友実、越川 頼光、後藤 規弘、池田 敦之、中井 喜貴、
畦地 英全、藤井 茂彦、日下 利広、国立 裕之

(休憩) 午後6時33分~6時40分

(第II部) 午後6時40分~7時28分

座長: 京都大学医学部附属病院 がん薬物治療科 講師 金井 雅史

7. 「術前アキシチニブが有効であった下大静脈腫瘍塞栓を伴う進行性腎癌の2例」
京都大学医学部附属病院 泌尿器科
濱田 彬弘、山崎 俊成、根来 宏光、小林 恭、寺田 直樹、杉野 善雄、松井 喜之、
井上 貴博、神波 大己、吉村 耕治、小川 修
8. 「再発膠芽腫に対する bevacizumab 併用 ICE 療法の治療経験」
京都大学医学部 脳神経外科、京都医療センター脳神経外科、高知大学医学部
脳神経外科、滋賀県立成人病センター 脳神経外科、北野病院 脳神経外科、
静岡県立総合病院 脳神経外科、iPS 細胞研究所
杉野寿哉、荒川芳輝、青木友和、上羽哲也、北条雅人、岩崎孝一、丹治正大、
國枝武治、高橋淳 B、高橋淳 C、高木康志、宮本享
9. 「肺癌術後再発症例に対するチロシンキナーゼ阻害剤の使用経験」
京都大学医学部附属病院呼吸器外科
毛受 暁史、園部 誠、安藤 豪志、横山 雄平、宮本 英、山田 徹、佐藤 雅昭、
青山 晃博、佐藤 寿彦、陳 豊史、大政 貢、伊達 洋至
10. 「肝細胞癌における分子標的治療薬 sorafenib のトピックス」
京都大学 肝胆膵・移植外科¹⁾、皮膚科²⁾、薬剤部³⁾
波多野悦朗¹⁾、北村好史¹⁾、福光剣¹⁾、瀬尾智¹⁾、田浦康二郎¹⁾、安近健太郎¹⁾、森章¹⁾、
海道利実¹⁾、岡島英明¹⁾、松村由美²⁾、福土将秀³⁾、上本伸二¹⁾
11. 「非膵島細胞腫瘍性低血糖(Non-islet cell tumor hypoglycemia:NICTH)を呈する
悪性腫瘍に対する活性型インスリン様増殖因子2 (Insulin-like growth factor-2:
IGF-2)を分子標的とした治療戦略」
京都大学大学院医学研究科 消化器内科学講座
瀬戸山 健、宮本 心一、武藤 学、千葉 勉

12. 「各種造血器悪性腫瘍及びRGM: Ras Gene Module 高発現癌に奏功する
新規抗癌剤開発」

京都大学大学院医学研究科人間健康科学専攻
○上久保 靖彦、足立 壮一
京都大学大学院医学研究科発達小児科学
加藤 格、梅田 雄嗣、平松 英文、渡邊 健一郎、平家 俊男

【休憩】 午後7時28分～7時35分

【ミニ レクチャー】 午後7時35分～7時55分

座長： 京都大学医学部附属病院 がん薬物治療科 教授 武藤 学
演者： 京都大学大学院医学研究科 婦人科学産科学 助教 濱西 潤三 先生

『抗PD-1抗体(Nivolumab)を用いた医師主導治験 ～卵巣癌への新しい治療開発を目指して～』

【閉会の辞】 午後7時55分

京都大学医学部附属病院 がん薬物治療科 教授 武藤 学

■京都教育文化センター 地図

